

杭州師範大学 講演会

中国人日本語学習者のテキスト理解を巡る言語的因果関係

Linguistic causal relations of text understanding by native Chinese speakers learning Japanese

内容：外国語としての日本語を学ぶ学生が、ある程度の語彙と文法の知識を身につけると、読解・聴解においてテキストの内容が自然に理解できるようになるのでしょうか。書かれた文章は複数の文のつながりで全体の意味が構成されています。また、音声による会話では、お互いの口頭でのやり取りから意味がつながっていきます。読解であろうと聴解であろうと、流れていく文と文の意味を推論でつなぐことでテキスト全体の意味が把握されます。そこで、本講演では、テストで測定した語彙、文法、文間推論、読解および聴解の言語的因果関係を分析して、文間推論の位置づけを検討します。講演では、各種の能力テストによる測定法、信頼度指標、因果関係の解析法(IBM-SPSS AMOS)も紹介します。なお、講演は日本語で行われます。



【日時】 2017年9月18日(月) 14:00-15:30

【場所】 杭州, 杭州師範大学 (杭州市余杭区倉前街道余杭塘路 2318 号)

連絡先 大学内の場所などの詳細については、劉琛琛先生 (hryucc@hotmail.com) に連絡して下さい。

【講演者】 玉岡 賀津雄 (TAMAOKA, Katsuo; tamaoka@nagoya-u.jp)

名古屋大学大学院人文学研究科・教授



講演者の玉岡賀津雄 (TAMAOKA, Katsuo) は、名古屋大学大学院人文学研究科の教授。言語心理学者として語彙の音韻・書字・意味・統語情報、句および文構造などの言語処理に関して、母語および日本語学習者を対象に広範囲の研究を行っている。単著および共著論文を、心理学分野では、*Journal of Neurolinguistics*, *Journal of Psycholinguistic Research*, *Psychonomic Bulletin and Review*, *PLoS ONE*, and *Journal of Experimental Psychology: Learning, Memory, and Cognition*, *Psychological Research*, 心理学研究, 認知科学 などに、言語学分野では、*Language, Lingua, Linguistic Inquiry*, *Journal of Japanese Linguistics*, and *Journal of Quantitative Linguistics*, 言語研究, 計量国語学, 日本語教育, 日本語文法, レキシコンフォーラム, 小出記念日本語教育研究会論文集などに掲載している。論文は、HP (<http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/~ktamaoka/>)の「研究業績」からダウンロードすることができます。